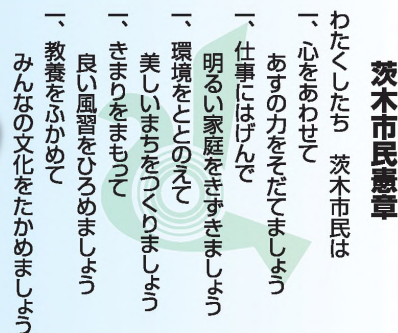


[illegible]

定期総会講演会

テーマ 「地域と防災」

講演 立命館大学政策科学部 准教授 豊田 祐輔氏

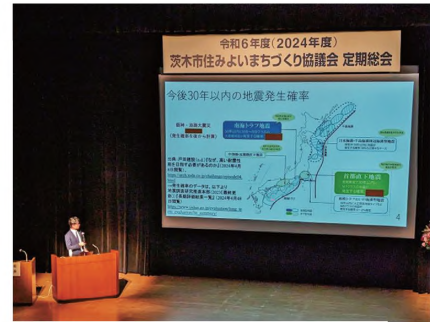
これからの災害、地震については、南海トラフ地震が今後30年以内に、70～80%の確率で必ず起こると予想されています。

今後の気象災害予測では、気温は上昇し、雨の日は減少するが大雨の日は増加、短時間強雨が増加し、内水氾濫や外水氾濫をまねき、人的被害、物的被害へとつながるとされています。

防災のまちづくりにおける自助・共助の課題については、防災意識が上がらない、上がったとしてもすぐに下がってしまい、コミュニティにおける防災のまちづくりが進まない、組織が結成されただけで活動が行われず、地域の安全性の向上につながらないなどのケースが多くみられます。また、訓練参加者の多くが高齢者であり、現代社会においては、職住分離の一般化などにより、人々の結びつきや地域への愛着の度合いが低下したと言われており、隣近所の顔も知らないといった希薄な人間関係や地域単位での行事の減少といった事例も見受けられます。

このような状況のなか、今後の防災については、3つの要素を踏まえて考えていく必要があります。まず1つ目は、多主体の連携です。地域コミュニティ(自治会、自主防災組織、PTAなど)が関わり、お花見をしながら防災資機材の点検、敬老会の時に要援護者の現状把握を行うなど、防災活動を他の行事と一緒にを行い、一過性のイベントで終わらず、その後の展開につなげるのが重要になります。2つ目は、防災学習に関する視点を理解から行動に転換することです。防災学習の重要な要素は、住んでいる地域の事や自分達でできること、また、教科書中心の授業や演習よりも経験に基づく行動中心の学習を行うことです。普段は防災訓練などに参加しないような保護者が、親子で一緒に学べる親子間の防災コミュニケーションなどに参加することで、防災意識の向上につながる機会となります。3つ目は、防災ナッジという手法です。例えば、広島県では、豪雨時に避難勧告で避難した人の多くが、「まわりの人が避難したから避難した」という理由から行動しているという社会規範を利用し、「あなたが避難することは、人の命を救うことになります」というメッセージを発し、避難行動に誘導する仕掛けづくりをしています。

“防災”に特化した取組も重要ですが、他の活動や手法を取り入れることで多くの方の関心を高めることができるかもしれません。今日の講演が地域の防災活動の広がりにつながれば幸いです。



茨木市住みよいまちづくり協議会 令和6年度重点実践項目

1. 住みよいまちづくりを目指し 市民憲章の周知と実践に努めよう
2. 地域環境を大切にして 花と緑をいっぱいにしよう
3. 安全・安心な まちづくりを 推進しよう
4. 教養をふかめて 温かい心で交流しよう
5. 郷土の伝統や文化財を 大切にしよう



主な取り組み

総務部会

- 市民憲章唱和の推進
- 機関紙「まちづくりの友」の発行
- 広報活動用掲示板の配布など
- 大学との連携



風習部会

- 迷惑駐車防止用ビラの配布
- 安全・安心まちづくりの日 キャンペーン等の実施
- 自転車運転マナー 啓発活動の推進



環境部会

- 市内一斉清掃の実施 及び参加拡大
- 清掃活動補助制度の実施
- 清掃用ロゴ入りごみ袋の作成
- 草花苗の配布等



善行者・善行団体表彰



乾 忠之 様
中山 清子 様
畑 實 様



いこい亭 様
春日神社
清掃奉仕グループ 様



春日神社清掃奉仕グループ 様

長年にわたり、春日神社(下穂積)、参道周辺道路の清掃活動をされておられます。最近活動に共感した高校生も一緒に参加されています。



迷惑駐車防止用ビラ

迷惑駐車を減らして、安全な住みよいまちづくりを推進するために「迷惑駐車防止用ビラ」の配布を行っています。「迷惑駐車防止用ビラ」が必要な場合は、事務局までご連絡ください。



事務局(市・地域コミュニティ課)

TEL 072-620-1604

市民憲章

市民憲章は、茨木市民としての市民性を高め、より住みよい地域社会をつくるため、市民一人ひとりの生活信条の指針として、市民の自発的な総意に基づいて、昭和41年に定められたものです。市民憲章を更に広めるため、推進活動の一環として唱和に必要なカードの配布を行っています。市民憲章カードが必要な場合は、事務局までご連絡ください。

茨木市民憲章

わたしたち 茨木市民は

1. 心をあわせて、あすの力をそだてましょう
1. 仕事にはげんで、明るく健康をきざしましょう
1. 周囲をととのえて、美しいまちをつくりましょう
1. きまりをまもって、良い風俗をひろめましょう
1. 教養をふかめて、みんなの文化をたかめましょう

昭和41年11月15日制定

清掃活動補助をご利用ください

茨木市住みよいまちづくり協議会では、構成団体等が実施する清掃活動に伴う清掃用具の購入に対し、補助金を交付しています。

◆補助対象…購入した清掃用具(ゴミ袋、軍手、ほうきなど)の経費の2分の1(限度額5千円)を年1回請求することができます。 ※草刈り機、脚立等は対象外

◆請求方法…所定の用紙に必要事項を記入し、購入したものの内訳がわかる領収書(レシート可)を添付して事務局まで提出してください。

◆申請・請求先…事務局(市・地域コミュニティ課)

TEL 072-620-1604



美化活動ベストをご利用ください

市では、美化活動を定期的実践している方に対して、美化活動ベストを貸与しています。美化活動の安全な推進と、環境美化意識を高めるためにご利用ください。

◆貸与対象…地域の公共的な場所の美化活動を定期的実践している市内在住・在勤・在学者及び市内に活動拠点を有する団体等

◆貸与内容…ベスト

※大きめのサイズ(XL)をご用意しております。

◆備考…枚数制限あり

◆申請先…市・地域コミュニティ課

TEL 072-620-1604



年末市内一斉清掃用ゴミ袋等の協賛金を募集しております

昨年度は、29団体・企業に協賛金のご協力をいただきました。ゴミ袋は、市内一斉清掃に参加していただきました自治会、老人クラブへ配布しました。協賛金のお申し込みは事務局までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

事務局 地域コミュニティ課 TEL 072-620-1604



大学生が取材する茨木市の会社紹介 vol.1 ～住みよいまちづくりを推進する企業を紹介します～

私たちの生活に彩を与える ユニバーサル園芸社

人とみどりの関係作りができる「ユニバーサル園芸社」を大学生2人が見学し、インタビューを行いました！



取材しました！

- Q** 人々に植物を提供し、植物と共に生きる空間を創造したいと思ったきっかけはなんですか？
- A** 植物は全て一点ものでそれぞれ特性があり、育つ環境や手入れの仕方、飾る人によって違いが出るところが十人十色でおもしろく感性が磨かれると感じたからです。
- Q** 人と植物がサステナブルな関係であり続けるために今を生きている人達がすべきことなどありますか？
- A** 植物は、必ず必要な物ではないが植物に価値を持たせ、需要があつてこそその商売であると感じています。価値を与えるような飾り方、木の特性を考え、共存、人々の意識の変革へ繋げていきたいと考えています。
- Q** この仕事をしていてよかったなと感じることなど誇りに思ったエピソードなどありますか？
- A** お客様からの評価や「ありがとう」と感謝の言葉を伝えていただき喜んでもらえることでやりがいを感じています。また、2か月に1回社内検定があり、試行錯誤しながら取り組んで完成させた作品を評価されることがモチベーションにも繋がっており、嬉しく感じています。
- Q** 仕事をする上で日々大切にしていることや心がけていることなどありますか？
- A** 基本を大事にしておろそかにしないために相手の目を見て挨拶や話をしています。毎朝、朝礼にて挨拶やおじぎの練習を行っています。仕事をする上でお客様との信頼関係を築くことやお客様の気持ちを理解することが重要なのでコミュニケーションを取ることを大切にしています。
- Q** SDGsの取り組みをかなりされているようですが、なにかSDGsに取り組むきっかけなどありましたか？
- A** SDGsやサステナブルという言葉が生まれる前から植物の再生、リサイクルを繰り返し行っていたので、今まで私たちが行っていた取り組みに時代が追いついてきたのではないかと考えられます。また、植物の再生は地球環境を守るうえで欠かせないことであり、グリーンを通じて社会に貢献することが私たちの使命だと感じています。



- 植物を見ると心が豊かにゆとりを持つことができる空間を提供している The Farm Universal Osaka。植物をコンセプトにしたカフェ併設のガーデンセンターをはじめ、いちご狩りや BBQ エリアなど自然に囲まれた施設で植物を見て心を癒すことができます。また、楽しく走り回れるドッグランやウサギ、ヤギの餌やり体験ができるので大人から子どもまで全ての人が楽しむことができます。
- 植物を用いたツールやクラフトなど日常に華を添える雑貨や、緑豊かな空間でゆったりとくつろぎながら食事がとれる空間もあるなど、植物に関係するものは全て揃えることができる施設です。施設内には全職員が2ヶ月に1度参加する文化祭の作品が展示されており、十人十色な作品を見ることができるところも見どころです。



取材の感想

追手門学院大学
山本 実咲さん

今回、「ユニバーサル園芸社」の取材，見学を通じて、植物は私たちの生活に必要不可欠であると改めて感じました。植物には、それぞれ特性があり育つ環境や手入れの仕方によって変化する。緑に触れることや植物を育てることでストレスの軽減，リフレッシュ効果や集中力が高まることもあることが分かり、人と緑が繋がることはより持続可能な未来に向けて大切な一歩だと特に感じました。

自然に溢れた環境に癒され、沢山の魅力がある「ユニバーサル園芸社」が訪れた方々の憩いの場となるような場所になっていけば良いと感じています。

今回、「ユニバーサル園芸社」にお話を聞かせていただき、「植物を見て誰も嫌な気持ちにならない」と話されていたことが1番印象に残っています。普通に生活している中で植物は何気なく目にしますが、自然と身体と心を癒してくれるものなのだと感じました。また、人々と植物がサステナブルな関係にあり続けるために、SDGsの取り組みを行っていたり、植物や自然と触れ合う空間が次々と拡大されていたりと訪れる人たちの心を豊かにしてくれる場所と感じました。

植物と自然に囲まれた施設で食事や BBQを楽しむのも魅力的です。たくさんの方に足を運んでいただき、植物を見て心を癒される空間が広がっていけば良いと考えます。

追手門学院大学
鎌谷 真衣さん



※この記事は、大学連携の一環として市内の大学に通う学生が取材しています。

くらしの中の 花いっぱいコンクール

市民生活に身近な善行活動として、地域内の美化や緑化の推進など、住みよいまちづくりに向け、他の模範となるべき奉仕活動を実践されている方々に、その尊い行為を讃え表彰状をお贈りしました。受賞された皆さまは次の方々です。

表彰者

- * 庄栄地区にお住まいの方
- * 西福井南自治会環境部 様



庄栄地区にお住まいの方



西福井南自治会環境部 様

「くらしの中の花いっぱいコンクール」募集中!

皆さんの自宅や、近所の玄関先等を花でいっぱいにし、道行く人をなごませているお宅はありませんか。

応募
方法

自薦他薦は問いませんので、推薦者・被推薦者のご連絡先、写真等を添えて事務局までご提出ください。

一年を通して花でいっぱいにしていること

道路等に出ていないこと

外から見て花がいっぱいになっているのが見えること

実地調査後、環境部会で審査し、優秀事例を決定します。

また、本協議会の5月の定期総会にて表彰いたします。皆さまのご応募をお待ちしております。

お出かけの季節 思い出と一緒にごみを持ち帰りましょう。
環境をととのえて美しいまちをつくりましょう。

